

electro-harmonix

Cock Fight

Cocked Talking Wah with Fuzz

Electro-Harmonix Cock Fight デュアル・フィルター・ファズをご購入頂きまして誠にありがとうございます。Cock Fightはトラディショナルなワウ・ペダル・フィルター(CRY)とパウエルサウンドを生み出すフォルマント・フィルター(TALK)の2つの異なったフィルターを搭載しております。またCock Fight はファズも搭載しておりフィルターセクションの前段もしくは後段に配置することが可能です。また、ファズは完全にオフにして使用することも可能です。BOTTOMコントロールとBIASコントロールを使用することにより音色に変化を加えることが可能で、エクスペッションペダルもしくはコントロールボルテージをEXPRESSIONインプットジャックに接続すれば更なる音色のコントロールが可能になります。

注意: Cock FightにはElectro-Harmonix JP9.6DC-200 ACアダプターが付属しています。(実際にCock Fightが消費するのは9VDCセンターマイナス/40mAとなります。)上記以外の間違ったアダプターや極性の間違ったプラグでの使用は故障や事故の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。

GETTING STARTED

9V電源ジャックに付属のアダプターを接続してください。そして楽器をインプットに、アウトプットをアンプに接続してください。VOLを約3時、FREQを時計回りいっぱい、BOTTOMを反時計回りいっぱい、左のスイッチをCRYモードに、右側のスイッチをFAZZ OFFにセッティングして下さい。フットスイッチを押すとLEDが点灯します。エフェクトをオンにすると若干ボリュームがブーストされブライトなサウンドになるでしょう。FREQノブを調整しお好みのクックド・ワウ・サウンドを作り出してください。オプションのエクスペッション・ペダルを接続すれば、トラディショナルなワウ・ペダルを操作するようにフィルターの周波数を変化させることも可能です。

- コントロール -

VOL(ボリューム)コントロール - マスターアウトプットボリュームを調整します。

FREQ(フリークエシー)コントロール - CRY/TALKトグルスイッチで選択されたフィルターの周波数を調整します。

TONE(トーン)コントロール - ダークなファズとブライトなファズのサウンドをブレンドします。

DRIVE(ドライブ)コントロール - ファズのかかり具合を調整します。

BOTTOM(ボトム)コントロール - 低音のブーストコントロールです。時計回りいっぱいの状態でユニティゲインより若干高いゲインになります。ノブを反時計回りに絞ってきた状態ですと、BOTTOM回路はシグナルパスから取り除かれた状態になります。 ヒント: ベースやその他の低音のソースを使用する場合、BOTTOMを調整することにより一般的なワウペダルでは失われてしまう低音を補うことが可能です。

CRY/TALK(クライ/トーク)トグルスイッチ - トグルスイッチを上ポジションにすると“CRY”セッティングを選択します。“CRY”は一般的なワウペダルのフィルターをシミュレートします。トグルスイッチを下ポジションにすると“TALK”セッティングを選択します。その名の通りこのセッティングではボーカルのようなハウエルサウンドをシミュレートします。

PRE/FUZZ OFF/POST(プリ/ファズ オフ/ポスト)トグルスイッチ - “PRE”を選択するとファズをフィルターの前段に配置します。このセッティングでは、ヘンドリクス風のヴィンテージサウンドを作り出すことが可能です。“FUZZ OFF”を選択すると回路から完全にFUZZを切り離します。“POST”を選択するとファズをフィルターの後段に配置し、よりモダンなサウンドを作り出すことが可能です。

BIAS(バイアス)コントロール - このコントロールは、ファズの回路内にあるトランジスタひとつにかかるバイアス電圧を調整します。BIASノブを時計回りいっぱいにすると通常の電圧を供給し、通常のファズサウンドを生み出します。また、ノブを反時計回りに回すにしたがって、バイアス電圧が下がっていき“電池切れ”サウンドを生み出します。サステインが減少し、ソフトに弾くほどに締め付けられていくようなサウンドが特徴です。

フットスイッチ & ステータスLED - フットスイッチでエフェクトON/バッファードバイパスの切替を行います。エフェクトON時にLEDが点灯します。

INPUT(インプット)ジャック - Cock Fightの1/4” フォン入力端子です。

OUTPUT(アウトプット)ジャック - Cock Fightの1/4” フォン出力端子です。

EXP(エクスペッション)ジャック - Expression/CVインプットはFREQ(フリーケンシー)ノブのコントロールを行います。本体上のFREQノブの位置がExpression/CVインプットのスイーブレンジの最大値を決定します。EXPインプットジャックには、TRS端子を採用しているエクスペッションペダルもしくはTIP/SLEEVE間が0-5Vのコントロールポルテージを使用できます。10kΩ/Bカーブのポットを使用したエクスペッション・ペダルが最適です。ポットのワイパーはTIP、つま先位置がRINGに接続されていなければなりません。いくつかのメーカーのエクスペッション・ペダルはこの条件に当てはまらずRINGとTIPを入れ替える特殊な変換ケーブルもしくはアダプターが必要になります。
推奨エクスペッション・ペダル: EHX Expression Pedal, M-Audio® EX-P, Moog® EP-2 & EP-3, Roland® EV-5, Boss® FV-500L.

- 電池の交換について -

9Vバッテリーを交換するにはCock Fight底面の4つのネジを外してください。ネジを外すとボトムプレートが外れバッテリーの交換が可能になります。**9Vのアルカリ電池を使用することをお勧めいたします。** パネルを開けている時は誤って基板に触れて破損させる危険性がありますのでご注意ください。

注意点と仕様について

- ・バッファードバイパス
- ・入力インピーダンス: 2MΩ
- ・出力インピーダンス: 470Ω
- ・消費電流: 35mA